

資料12 評価項目と評価基準

評価項目	評価概要	提案事項（記載すべき事項）	提出資料
1. 提案者概要			
1 会社概要	<ul style="list-style-type: none"> ■提案者（SI事業者）の企業規模および事業内容等を含め、当院への導入および導入後の保守を十分に評価する。 ■また、提案者以外のベンダ（提案システムの構成に含まれる別のベンダ）についても同様に評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■提案者の資本金、売上（直近）、所在地（本社および当院所管支所等）について記載する。 ■提案者のISO、ISMS等の認証の状況について記載する。 	様式1.1
2 導入実績（会社の評価）	<ul style="list-style-type: none"> ■提案者として、当院に相当するような規模、医療機能の施設（三次救急、周産期機能等）に対する導入経験が十分に評価する。 ※実績として記載する対象施設の規模、医療機能等について制限を設け、指定数以上の実績があることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■導入実績の対象に関する情報（医療機関名、運営主体、病床数、所在地） ■導入実績となるシステムに関する情報（システム構成、製品名、製品バージョン、製品メーカー） ■導入実績の詳細に関する情報（導入作業時の体制、協力会社、導入期間） 	様式1.2
3 稼働実績（製品の評価）	<ul style="list-style-type: none"> ■提案者が今回提案するシステムが、当院に相当するような規模、医療機能の施設（三次救急、周産期機能等）の稼働実績があり、品質・性能を含め安定稼働が十分期待できるか評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■提案システム構成に含まれる各システム別に記載する。 ■製品に関する情報（製品名、製品バージョン、製品メーカー、国内全体での稼働数） ■製品の稼働実績に関する情報（医療機関名、運営主体、病床数、所在地、主な医療機能） 	様式1.3
4 職務実績（体制の評価）	<ul style="list-style-type: none"> ■提案者の体制（プロジェクトマネージャおよびプロジェクトリーダー）が、当院に相当するような規模、医療機能の施設（三次救急、周産期機能等）に対する導入経験が十分に評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■導入経験に関する情報（医療機関名、運営主体、病床数、所在地） ■導入経験の対象となるシステムに関する情報（システム構成、製品名、製品バージョン、製品メーカー） 	様式1.4
2. 要求仕様に対する実現性			
1 要求仕様書への回答	<ul style="list-style-type: none"> ■当院が求める要求に対し、どの程度対応可能であるか、あるいは十分な代替案が提示できているか評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■要求仕様書の各項目に対する回答（標準・オプション・カスタマイズ等） ■代替機能、代替運用の提案がある場合はその内容 	様式2 要求仕様回答書
3. 見積・見積明細			
4. 提案システムの特徴			
<ul style="list-style-type: none"> ■提案者が今回提案するシステムが、当院にとってどのような効果が期待できる提案となっているか評価する。 		<ul style="list-style-type: none"> ■提案システムが当院にもたらす効果について、具体的な提案があれば記載する。 ■提案システム導入により当院にもたらす影響（デメリットあるいは課題）があれば具体的に記載する。 	様式4（自由様式）
5. 提案システムの明細			
<ul style="list-style-type: none"> ●提案者が今回提案するシステムに対する詳細を記載する。 			
1 システム構成一覧	<ul style="list-style-type: none"> ■提案システム全体の各構成要素について、製品名・バージョン・開発メーカー・導入メーカー・保守窓口等を確認するための資料とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■提案システム構成に含まれる各システム別に記載する。 ■製品に関する情報（製品名、製品バージョン、製品メーカー、国内全体での稼働数） 	様式5.1
2 システム構成図	<ul style="list-style-type: none"> ■提案システム全体について、システム構成一覧に提示された各システム間の関係・連携等を確認するための資料とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■システム構成一覧（様式5.1）で記載されたシステムおよびサブシステム間の関係・連携を図として記載する。 	様式5.2（自由様式）
3 システム連携明細	<ul style="list-style-type: none"> ■提案システム間の連携において、連携方式、連携内容等を確認するための資料とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■システム構成一覧（様式5.1）で記載されたシステムおよびサブシステム間の関係・連携をもとに、連携内容（連携情報）、連携の方式、連携のタイミングについて記載する。 	様式5.3
4 サーバラック収納構成図	<ul style="list-style-type: none"> ■提案システム全体について、システム構成一覧に提示された各システムのサーバ機器をサーバラックにどのように収納するかを確認するための資料とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■システム構成一覧（様式5.1）で記載されたシステムおよびサブシステムで使用するサーバ機器およびその周辺機器等について、サーバラックへの収納予定配置について記載する。 	様式5.4
5 ネットワーク構成図	<ul style="list-style-type: none"> ■提案システム全体を最適に稼働させるために必要なネットワークの物理的構成、論理的構成（IPアドレスの体系等）および性能（必要帯域）等を確認するための資料とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■システム構成一覧（様式5.1）で記載されたシステムおよびサブシステムを稼働させるためのネットワークについて、物理的な構成、論理的構成（IPアドレス体系、VLAN構成など）および必要性能（LANの種類）の想定について記載する。 	様式5.5（自由様式）
6. 現場の視点に沿った評価			
1 システムの使いやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ■システムの操作において、情報の把握を迅速に行えるための工夫について具体的に記載する。 ■システム操作において、情報の誤認、情報共有・伝達時の錯誤を防止するための工夫について具体的に記載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■システムの操作において、情報の把握を迅速に行えるための工夫について具体的に記載する。 ■システム操作において、情報の誤認、情報共有・伝達時の錯誤を防止するための工夫について具体的に記載する。 	様式6.1（自由様式）
2 利用者の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> ■操作手順の簡略化、自動入力、重複入力の抑制など、システム操作に伴う利用者の負担軽減や、システム導入による業務改善に伴う利用者の負担軽減などの工夫がなされているか評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■不要な画面展開の削減やクリック数の削減など、操作手順の簡略化のための工夫について具体的に記載する。 ■入力画面において、目的に応じた初期値の自動設定や、他の入力画面の情報の自動展開など、入力操作の負担軽減と転記による誤入力防止のための工夫について具体的に記載する。 ■システム機能による従来業務からの業務改善提案について、方法と効果について具体的に記載する。 	様式6.2（自由様式）
3 レスポンス	<ul style="list-style-type: none"> ■システム操作におけるレスポンス（画面応答時間）が十分であるか、時間がかかる処理の場合の対応などに工夫がなされているか評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■主要な画面・機能について、当院と同等規模の医療機関を想定したデータ量を前提としたレスポンス時間（画面応答時間）を具体的に記載する。 ■レスポンス時間が通常より長くなるのが予想される機能、操作条件があれば具体的に記載する。 ■レスポンス時間が長くなった場合、操作のキャンセルが行えるかなど業務への支障が生じないような工夫について具体的に記載する。 	様式6.3（自由様式）
7. 開発実施に対する実現性の評価			
1 構築スケジュールと役割分担の提案	<ul style="list-style-type: none"> ■契約締結後からシステム本稼働までの構築スケジュールが、当院の医療機能継続に配慮され、かつ具体的に説得力のある提案となっているか評価する。 ■提案者が提示するスケジュールに対して、提案者と当院での役割分担が明確になっており、かつそれが当院の医療機能継続に配慮され、それが妥当であるか評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■契約締結後からシステム本稼働および稼働後の安定稼働確認までの構築スケジュールについて、全体および各部門システム間を含めて少なくとも週単位の具体的なスケジュールを記載する。 ■様式7.1のスケジュールに記載した作業単位別に、提案者と当院の役割分担と、当院に求められる作業内容および想定される作業量を具体的に記載する。 	様式7.1
2 開発体制と担当者の実績	<ul style="list-style-type: none"> ■提案者のプロジェクト体制、配員計画、主要な技術者の経験が明確になっており、かつ、それらが当院のシステム構築に対して十分であるか評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■システム構築におけるプロジェクト体制、配員計画、主要な技術者の直近の経験について具体的に記載する。 	様式7.2
8. システム構築に関する評価			
1 WGの構成と実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ■システム構築に伴うWGの構成、必要なメンバー、各WGで実施する内容とWG開催回数の計画が明確になっているか、それらが当院の医療機能継続に配慮されておりかつ妥当であるか評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■WGの構成、必要なメンバー、WGで実施する作業の内容と想定する開催回数を具体的に記載すること。 ■当院の診療機能に影響が生じないよう、WG実施による負担を軽減するための工夫について具体的に記載する。 	様式8.1（自由様式）
3 マスタ構築の方法	<ul style="list-style-type: none"> ■システム構築時におけるマスタデータの作成・更新方法、構築スケジュールが具体的にあって、当院の医療機能継続に配慮され、それが妥当であるか評価する。 ■同様に、システム稼働後のシステム間でのマスタデータの同期・整合について、システム機能および運用方法が具体的にあって、それらが妥当であるか評価する。 また、マスタデータの標準化への対応状況について評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■マスタデータの構築作業について、マスタデータの作成・更新方法、構築スケジュールと提案者および当院職員の役割分担について具体的に記載する。 ■システム稼働後における、医療改定・薬価改定等で生じるマスタデータの変更に対する、マスタデータの同期・整合の方法について、システム機能および運用方法の工夫を具体的に記載する。 ■地域医療連携、行政等により求められる情報提供等求められる標準マスタへの対応について具体的な提案を記載する。 ■新施設完成引渡前の作業方法について具体的な提案を記載する。 	様式8.2（自由様式）
4 データ移行の範囲と移行方法	<ul style="list-style-type: none"> ■現行システムから提案システムへの切替えに伴うデータ移行の範囲と、移行方法、移行の手順とスケジュールについて明確になっているか、また、それらが妥当であるか評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■現行システムから提案システムへのデータ移行の手順とスケジュールについて具体的に記載する。 ■データ移行に人的作業が必要となる場合、具体的な作業内容と想定される作業量について具体的に記載する。 ■現行システムから提案システムへのデータ移行について、移行後のデータが新システムでどのように閲覧、再利用できるかを具体的に記載する。 ■新施設完成引渡前の作業方法について具体的な提案を記載する。 	様式8.3（自由様式）

資料12 評価項目と評価基準

評価項目	評価概要	提案事項（記載すべき事項）	提出資料
9. 稼働準備に関する評価			
1 業務・運用マニュアル等の内容および提供方法	■提案システム導入に伴う業務フローや運用マニュアル、ガイドラインに準拠した運用管理規程の整備に対する提案者の取組みについて、具体的な提案がなされているか、またそれが妥当であるか評価する。	■業務フロー図や運用マニュアル、フポイントマニュアル等、業務を円滑かつ確実に実施するための資料について、提案者が想定する提供範囲、資料作成に伴う支援作業などを具体的に記載する。	様式9（自由様式）
2 職員に対する操作訓練および研修の内容と実施方法	■操作教育のスケジュール、プログラムが具体的にになっているか、また、当院に合わせた教育マニュアルが提供されるか評価する。	■操作教育の方法、操作教育の回数と内容に基づきスケジュールを具体的に記載する。 ■システム稼働時に十分な操作習熟を達成できるような工夫について具体的に記載する。 ■提案者より提供される操作マニュアルの範囲と内容（メーカー標準版の提供か、当院向け内容の提供か）を記載する。 ■新施設完成引渡前の作業方法について具体的な提案を記載する。	様式9（自由様式）
3 リハーサルの方針と実施方法	■リハーサルの対象範囲と実施回数、スケジュール、リハーサルへの支援体制などが具体的に提案されているか、またそれが妥当であるか評価する。	■リハーサルの対象範囲と実施回数、実施時期を具体的に記載する。 ■リハーサル実施における提案者の支援体制を具体的に記載する。 ■リハーサルシナリオの提供、シナリオ内容調整、リハーサル用事前データ登録等、提案者による対応と当院職員に求められる作業内容と作業量を具体的に記載する。	様式9（自由様式）
10. システム切換えに対する評価			
1 稼働立会の体制と役割	■システム切換え時（切換え前、切換え後）の稼働立ち会いにおける体制とスケジュールが明確になっているか、またそれが妥当であるか評価する。	■システム切換え時（切換え当日、切換え後）の稼働立ち会いスケジュールと支援体制（支援人数）について具体的に記載する。	様式10（自由様式）
11. 安定稼働に対する評価			
1 障害の想定とその対策および回避策	■提案システムの運営において、予想され得る障害が把握できており、それらの障害に対して回避策としてどのような対応がなされているか、またそれが妥当であるか評価する。	■システム稼働後に発生する可能性のある障害を列挙し、その障害を予防するための対策がどのように提案されているか具体的に記載する。 ■想定している障害が発生した場合の対応方法について具体的に記載する。	様式11（自由様式）
2 レスポンス低下に対する対策および回避策	■提案システムのライフサイクル（少なくとも稼働後7年程度）を通して、レスポンス低下を招く要因が把握できており、それら要因に対する回避策としてどのような対応がなされているか、またそれが妥当であるか評価する。	■システム稼働後にレスポンス低下が発生する要因を列挙し、その要因に対する対策がどのように提案されているか具体的に記載する。 ■想定しているレスポンス低下が発生した場合の対応方法について具体的に記載する。	様式11（自由様式）
3 保守体制	■提案システム稼働後、システム停止無しで安定稼働を継続するための保守体制について具体的な提案となっているか、またそれが妥当であるか評価する。 ■提案システムがマルチベンダ方式となっている場合、システム全体として安定稼働を確保するためのベンダ間の体制、連携、責任区分が明確になっているか評価する。	■システム稼働後の安定稼働を実現するための予防保守について、保守の体制、対応内容を具体的に記載する。 ■システム障害発生時の原因究明、障害対策のための体制および対応内容を具体的に記載する。 ■マルチベンダ方式によりシステムを構築する場合、ベンダ間での連絡・対応体制と、責任区分について具体的に記載する。 ■リモート保守における組織的体制、教育体制、セキュリティ対策内容などを具体的に記載する。	様式11（自由様式）
4 ヘルプデスク	■院内で発生する問合せへの対応（所謂ヘルプデスク業務）に対する支援（環境構築と提供、技術指導、操作指導等）について、具体的な提案となっているか、またそれが妥当であるか評価する。	■ヘルプデスク業務に対し、提案者が実施する支援業務（操作確認用環境の構築と貸与、操作指導、技術指導、他院事例等の情報提供など）の範囲と内容について具体的に記載する。 ■システム切換え時の支援の他、翌年度以降の支援方法について具体的に記載する。	様式11（自由様式）
12. セキュリティに対する評価			
1 サイバー攻撃に対するセキュリティ対策	■外部からの侵入・攻撃、情報の漏洩・流出など、システム機能としてのセキュリティ対策が具体的に提案されているか、またそれが妥当であるか評価する。	■外部からの侵入・攻撃、情報の漏洩・流出など、想定されるセキュリティリスクを列挙し、どのような対策が提案に含まれているか具体的に記載する。 ■サイバー攻撃が発生した場合、システムの復旧に対する考え方、提案者と市の責任分界点について具体的に記載する。 ■リモート保守における物理的対策、運用的対策について具体的に記載する。	様式12（自由様式）
2 内部活動に対するセキュリティ対策	■内部からの故意・不注意等による情報の漏洩・流出に対して、システム機能としてのセキュリティ対策が具体的に提案されているか、またそれが妥当であるか評価する。	■内部からの故意・不注意等による情報の漏洩・流出など、想定されるセキュリティリスクを列挙し、個人情報の匿名化など、どのような対策が提案に含まれているか具体的に記載する。	様式12（自由様式）
13. コストに対する評価			
1 構築費用	■システム構築に係る費用の削減に向けた工夫がどのように提案されているか、またそれが妥当であるか評価する。	■今回の提案においてシステム構築費用削減に向けてどのような工夫がなされているか具体的に記載する。 ■今回の提案内容以外に、システム構築費用削減に向けた提案があれば具体的に記載する。	様式13（自由様式）
2 保守・維持継続費用	■システム稼働後の保守・維持継続に係る費用の削減に向けた工夫がどのように提案されているか、また、それが妥当であるか評価する。	■今回の提案において、保守費用の削減に向けて、どのような工夫がなされているか具体的に記載する。 ■今回の提案内容以外に、保守費用削減に向けた提案があれば具体的に記載する。	様式13（自由様式）
3（次回）更新費用	■提案システム稼働後のライフサイクル終了（少なくとも7年後）に伴う次回のシステム更新における更新費用削減に向けた工夫がどのように提案されているか、またそれが妥当であるか評価する。	■提案システム稼働後の次のシステム更新時、提案者のシステムを継続して利用することを前提とした場合、最低限必要となる費用の考え方と可能であれば概算費用を記載する。 ■提案システム稼働後の次のシステム更新時、提案者とは異なるベンダのシステムに変更することを前提とした場合、最低限必要となる費用の考え方と可能であれば概算費用を記載する。 ■提案システム稼働後の次のシステム更新に係る費用を削減するための提案を具体的に記載する。	様式13（自由様式）
14. 情報システムの利活用に関する評価			
1 情報の二次利用	■提案システムに蓄積される各種データを用いて、経営改善等の二次利用にどのように利用できるか具体的な提案となっているか、またそれが妥当であるか評価する。 ■二次利用以外にも、提案システムで実現されない一次利用を目的とし、蓄積されたデータを外部から活用するための工夫がどのように提案されているか、また、それが妥当であるか評価する。	■提案システムに蓄積されている各種データの二次利用の方法と効果について、実際の事例の紹介を具体的に記載する。 ■患者情報の一次利用を目的として、蓄積されているデータの検索、抽出をどのように実現できるか具体的に記載する。 ■提案システムに蓄積されたデータの一次利用、二次利用を実現するために、提案者がどのような支援を行えるか具体的に記載する。	様式14（自由様式）
2 学会・教育等への利用	■提案システムに蓄積された各種データを用いて、学会報告、認定取得のための報告、カンファレンス等の院内教育にどのように利用できるか具体的な提案となっているか、また、それが妥当であるか評価する。	■学会報告、認定取得のための報告、カンファレンス等の院内教育を目的として、提案システムに蓄積された各種データを活用するための提案について具体的に記載する。	様式14（自由様式）

資料12 評価項目と評価基準

評価項目	評価概要	提案事項（記載すべき事項）	提出資料
15. 情報システムの将来性に関する評価			
1 医療改定・バージョンアップ等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ■医療改定に対して、どのような対応となるか具体的な提案となっているか、またそれが妥当であるか評価する。 ■提案システムのバージョンアップのロードマップがどのようにになっているか、かつ当院に対する対応が具体的な提案となっているか、またそれが妥当であるか評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■提案システムのライフサイクル（稼働後少なくとも7年間）に発生する医療改定に対する対応について、対応可能範囲、費用、対応のための期間を記載する。 ■提案システム（提案対象の製品・バージョン）に対し、将来のバージョンアップが計画（予定）されている場合は、その時期と内容について記載する。 ■提案システム（提案対象の製品・バージョン）に対し、保守サポートの期限（製品としての最終サポート期限）が計画（予定）されている場合は、その時期とサポート終了後の対応について記載する。 ■令和6年度診療報酬改定における「医療DX推進体制整備加算」の要件に対し、今回提案の範囲及び今後の対応・予定等を具体的に記載すること。 	様式15（自由様式）
2 ハードウェア・ソフトウェアの進化に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ■提案システム稼働後のライフサイクル終了までの期間において、ハードウェアの進化に伴うモデルチェンジ発生に対して、どのような対応となるか具体的にになっているか、またそれが妥当であるか評価する。 ■提案システム稼働後のライフサイクル終了までの期間において、OS、DBMS等のモデルウェア等のモデルチェンジ発生に対して、どのような対応となるか具体的にになっているか、また、それが妥当であるか評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■提案システムを構成する各ハードウェアについて、ハードウェア提供メーカーによる生産終了・サポート終了が計画（予定）されている場合はその期限について記載する。 ■提案システムを構成する各ハードウェアについて、当院のライフサイクル（稼働後少なくとも7年間）期間内にハードウェア提供メーカーによる生産終了・サポート終了が予期せず生じた場合、その後の故障修理、機器追加の要望に対して、提案者としてどのような対応を想定しているか記載する。 ■提案システム含まれるOS、DBMS等のソフトウェアについて、ソフトウェア提供メーカーによる生産終了・サポート終了が計画（予定）されている場合はその期限について記載する。 ■提案システムに含まれるOS、DBMS等のソフトウェアについて、当院のライフサイクル（稼働後少なくとも7年間）期間内にソフトウェア提供メーカーによる生産終了・サポート終了が予期せず生じた場合、その後の障害対応、ソフトウェアの追加の要望に対して、提案者としてどのような対応を想定しているか記載する。 	様式15（自由様式）
3（次回）更新に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ■提案システムの製品ライフサイクル（サポート終了、保守終了等）が明確になっているか、またそれが当院の想定する稼働ライフサイクルに対して妥当であるか評価する。 ■また、提案システムからその次のシステム更新を行う場合、蓄積されたデータの移行、および移行が困難となる場合の参照機能の提供等が具体的な提案となっているか、また、それが妥当であるか評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■提案システムについて、生産終了・サポート終了が計画（予定）されている場合はその期限について記載する。 ■提案システムから次のシステム更新を行う場合、蓄積されたデータ移行の実施に対し、提案者としてどのような対応を想定しているか、システム機能、必要な費用と削減のための工夫について具体的に記載する。 ■提案システムから次のシステム更新を行う場合、完全なデータ移行が実現できない場合に、旧システム（提案システム）に蓄積されたデータをどのように参照可能とする提案となっているか具体的に記載する。 	様式15（自由様式）
15. プレゼンテーション評価			
1 プロジェクトメンバー（リーダー）のコミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ■プロジェクトの実施メンバー（主としてマネージャまたはリーダー）のプレゼンテーションを元に、メンバーのコミュニケーション力、リーダーシップ能力について評価する。 		
2 質疑応答に対する対応力	<ul style="list-style-type: none"> ■プレゼンテーション内容に基づく質疑応答を通して、即時的な対応力、経験・実績等に基づく提案書以外の提案力等について評価する。 		